

令和8年産サツマイモ基腐病対策の防除暦

令和7年10月作成

持ち込まない (健全苗の確保), **増やさない** (排水対策, 予防防除), **残さない** (残さの分解促進) を徹底しましょう

月 旬		育 苗		月 旬		本 ぽ			
		健全苗生産が基腐病対策の基本！				排水対策，異常株除去と予防防除を！			
1月	上旬	挿し苗増殖	バイオ苗は必要本数を早めに準備する。 (※バイオ苗の注文に関しては、農協や取り扱い会社にお問い合わせください。)	健全ほ場の確保 種いも生産は、水田やさつまいもを数年栽培していないほ場で行う。	1月	上旬	前作で被害の大きいほ場での対応 ・他作物への転換 基腐病菌の密度を低減するため、さつまいもを連作せず、他作物へ転換する。 ・輪作または交換耕作 前年に水稲を栽培した水田や、2年以上さつまいもを栽培していないほ場で栽培する。		
	中旬								
	下旬								
2月	上旬				採 苗	種いも選別 伏せ込む前に、病害や傷の見られる種いもは必ず取り除く。	2月	上旬	畑の土づくり，害虫対策 ※4 完熟堆肥を施用することで通気性，透水性，保水性などが良くなるため，1t/10aを目安に施用する。また化学肥料も地域の栽培基準を参考に施肥する。近年，一部のほ場で，基腐病以外の腐敗（害虫による傷から細菌が感染する場合があります。）が見られるため，害虫対策もしっかり行う。
	中旬								
	下旬								
3月	上旬	植付苗の消毒 ※1 <div>採苗 → 苗消毒 → 苗の取置き</div> ※苗全体を薬液に30分間浸漬 ・採苗時は地面から5cm以上離れた位置で採苗し，苗消毒を行う。 ・採苗で使用するハサミは，定期的に刃先を消毒する。 ・消毒液は使用日ごとに毎回調製する。	3月	上旬			ほ場排水性の改善 ・ほ場は額縁明きよの設置や，枕畝の除去，枕畝を切るなどを行い，ほ場外への排水を促す。 ・ほ場外の排水路のつまりがないか確認する。		
	中旬								
	下旬								
4月	上旬		後片付け・土壌消毒	育苗床の後片付け 育苗が終了したら，速やかに残さを持ち出し，複数回耕うんして残さの分解を促進する。	4月	上旬	異常株の除去 定期巡回により葉の変色やしおれ症状を示す株を早期に見つけ，株ごと抜き取って，ほ場外に持ち出す。		
	中旬								
	下旬								
5月	上旬	育苗床の土壌消毒 ※2 消毒効果を高めるため，地温，土壌水分を確保し，土壌湿後はビニールで全面被覆する。			5月	上旬	品種の選定 前作で基腐病が発生したほ場には多収で基腐病に強い品種を植え付ける。		
	中旬								
	下旬								
6月	上旬		種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。	6月	上旬	品種やほ場での発生状況に応じた薬剤防除 ※5 散布例			
	中旬								
	下旬								
7月	上旬	種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。		7月	上旬	収穫・残さ処理 収穫後のくずいもやしよ梗は，ほ場に放置したままにすると乾燥し固くなるため，残さの粉碎やすき込みは，水分を十分に含んでいる収穫直後に速やかに行う。			
	中旬								
	下旬								
8月	上旬		種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。	8月	上旬	本ぽの土壌消毒 ※2			
	中旬								
	下旬								
9月	上旬	種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。		9月	上旬	本ぽの土壌消毒 ※2			
	中旬								
	下旬								
10月	上旬		種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。	10月	上旬	本ぽの土壌消毒 ※2			
	中旬								
	下旬								
11月	上旬	種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。		11月	上旬	本ぽの土壌消毒 ※2			
	中旬								
	下旬								
12月	上旬		種いも消毒 ※3 蒸熱消毒とは 種いもを水蒸気が発生する専用の装置（写真）に入れ，48℃100分で基腐病を消毒する技術で，貯蔵前に蒸熱消毒を行うことで基腐病の発生リスクが軽減される。	12月	上旬	本ぽの土壌消毒 ※2			
	中旬								
	下旬								

(1) 苗消毒 ※1

農薬の名称	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病，つる割病，黒斑病	500～1000倍	植付前
ベンレートT水和剤 20	基腐病，つる割病，黒斑病	200倍	植付前

(2) 土壌消毒 ※2

農薬の名称	有効成分	病害	線虫	害虫	雑草
バスアミド微粒剤・ガスタード微粒剤	ダズメット	○	○	—	○
クロールピクリン等	クロールピクリン	○	○	○	○

(3) 種いも消毒 ※3

農薬の名称	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数
トップジンM水和剤	基腐病，黒斑病	200～500倍	貯蔵前	1

※記載されている農薬は，令和7年8月29日現在の登録内容に基づいています。
登録内容が変更されている場合があるので，表示ラベルの記載内容を確認し，適正に使用しましょう。
※農研機構生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業（O1020C）」，「戦略的スマート農業技術等の開発・改良（SA2-102N）」の成果を引用。

基腐病以外の腐敗防止のため害虫対策にも取り組みましょう！

害虫対策（※4）に係る農薬については，右のQRコードを読み取って参照してください。



(4) ほ場での薬剤防除 ※5

農薬の名称	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	10a当たり 使用液量	使用時期 (使用方法)	使用 回数
フリントフロアブル25	基腐病	250倍	100ℓ	植付前 (全面散布後土壌混和)	1
		125倍	50ℓ		
		50倍	20ℓ		
		25倍	10ℓ		
		10倍	4ℓ		
フロンスайд粉剤	基腐病	40kg/10a	—	植付前(全面土壌混和)	1
フロンスайдSC	基腐病	500mℓ/10a	50～200ℓ	植付前 (全面散布土壌混和又は全面土壌散布)	
トリフミン水和剤	基腐病	1000倍	100～300ℓ	収穫30日前まで	2
アミスター20フロアブル	基腐病	2000～3000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2
		16倍	0.8～1.6ℓ		
ジーファイン水和剤(銅剤)	基腐病	2000倍	100～300ℓ	収穫14日前まで	3
		12～32倍	1.6ℓ		
Zボルドー(銅剤)	基腐病，斑点病	1000倍	200～300ℓ	収穫前日まで	—
		50倍	100～300ℓ		
ICボルドー66D(銅剤)	基腐病	6倍	24ℓ	発病前～発病初期	—
		4倍	16ℓ		
		2倍	8ℓ		
		1000倍	100～300ℓ		
クプロシールド(銅剤)・クプロザートフロアブル(銅剤)	基腐病	32倍	3.2ℓ	発病前～発病初期	—
		16倍	1.6ℓ		